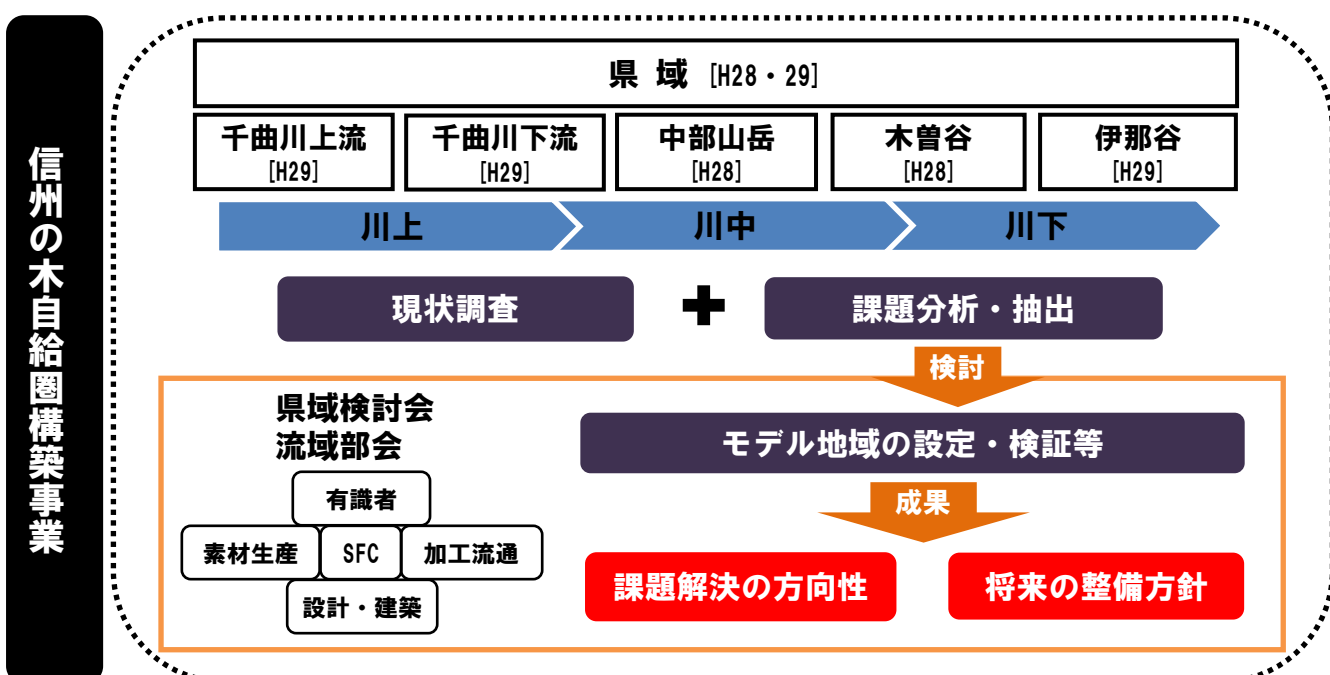


信州の木自給圏構築事業について

県産材利用推進室

県内の森林資源は充実しつつあり利用の時代を迎えているが、現状では、「植えて」「育てて」「伐って」「使う」という林業のサイクルの確立や、地域内における川上から川下までの安定的な木材需給体制の構築等の課題により、林業の自立に至っていない状況にある。そのため、各流域における現状の調査から課題を抽出するとともに、流域内で自立した林業構造を構築するためのモデル地域の設定等による課題解決の方向性を検討し、将来の整備方針を策定することで、林業県として自立するための効果的な施策の推進を図る。



★各流域の方向性、整備方針を活かし、他県・海外等の動向を見据えた県域の方向性等を明確化



県域・流域毎の整備方針に基づき
戦略的に施策を展開

- ★既存事業による計画的・戦略的・集中的な整備推進
- ★課題解決のための新たな施策による支援・展開
- ★自立に向けた流域毎の検討継続、進捗管理

自立した経済構造の
構築を推進



目指す姿（森林県から林業県へ）
への展開を加速

林業のサイクルを取り戻し、森林・地域資源を活用した
山村地域を支える林業・木材産業に成長

人口減少への歯止めと人口減少を踏まえた地域社会の維持・活性化